

2005 年 10 月 19 日

## ニーズ調査サンプル

調査実施年月日：2005 年 10 月 18 日

調査対象地域：Dana No.4 村

総世帯数：210 世帯

人口：約 1,680 人

## 1、家屋倒壊状況

| 倒壊状況 | 家屋数 |
|------|-----|
| 全壊   | 150 |
| 半壊   | 60  |

## 2、人口比率

15 歳以下の子供の人口が全体の約 60%

60 歳以上の高齢者の人口が全体の約 8%

全体の中で約 16%が成人女性

## 3、収入源

海外の家族から 約 4%

国内の家族から 約 8%

カシミール地方の家族から 約 25%

## 4、ニーズ調査

食料は基本的に自給自足の地域であり、通常の状態であれば、多くの世帯は、向こう約 6 ヶ月分の貯えをしていることが確認された。地震発生後は、壁が残っている家の中からそうした食料を取り出して食べている。また、近くに商店などもあり被災者は食料に対して緊急な支援を要求していない。

一方、シェルターの確保に関しては、事態は深刻である。余震がある為、半壊した家屋の中で寝ることを、住民はできるだけ避けている。多くの住民は屋外で寝泊りすることを強いられており、テント・毛布の支給が緊急に必要である。事業対象地域は、標高 2,200 メートルを越える山間部であることから、冬季は非常に寒く、テント・毛布の配布が必要である。

以上